

# 小児看護援助論

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・下野純平

科目担当者（職位・氏名）：助教・秋本和宏、助教・遠藤麻子

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽  
人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践  
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：75

## ■ 授業概要

健康が障害された小児の健康問題・障害の段階、入院に対する小児と家族の反応と影響要因、小児の入院生活における看護、退院に向けた看護、家庭療養中の看護等について教授する。また、健康を障害された小児の発達段階および経過別看護、状況別看護を教授し、さらに事例を用いた看護過程の展開を通して小児と家族に対する看護方法を教授する。

## ■ 到達目標

1. 小児と家族の健康問題や入院に対する反応と影響要因および入院生活における看護、退院に向けた看護、家庭療養中の看護等について説明できる。
2. 健康が障害された小児の各発達段階（新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期）に応じた看護について説明できる。
3. 健康が障害された子どもと家族の経過の特徴と看護について説明できる。
4. 小児と家族に起こりやすい・直面しやすい状況の特徴と看護について説明できる。
5. 紙上事例の看護過程の展開を通して、小児と家族に対する看護方法をケア・スピリット（倫理的な姿勢）も含めて修得できる。

## ■ 教育内容

小児看護学、個人・家族・集団・組織の支援

## ■ キーワード

小児の健康問題・障害、入院に対する反応、退院に向けた看護、状況別看護、経過別看護

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	オリエンテーション 健康障害や入院が小児と家族に及ぼす影響と看護	授業概要についてのオリエンテーション 子どもの病気の理解 子どものプレパレーション 健康障害に伴う子どもと家族のストレスと対処 (講義)	下野
2	心身障害のある小児と家族への看護 (特別支援教育を含む)	法律に基づいた障害の概念の理解 重症心身障害児・超重症児の概念の理解 重症心身障害児と家族への看護 特別支援教育 (講義)	下野
3	ハイリスク新生児と家族への看護	ハイリスク新生児と家族の理解 新生児疾患がある新生児、早産・低出生体重児と家族への具体的な看護 (講義)	秋本
4	急性期にある小児と家族への看護① (主な症状の観察および看護①)	小児に特有な各症状（発熱・脱水・けいれん・意識障害）の特徴と看護 (講義)	秋本
5	急性期にある小児と家族への看護② (主な症状の観察および看護②)	小児に特有な各症状（呼吸困難・喘鳴・咳嗽・嘔吐・便秘・下痢・発疹）の特徴と看護 (講義)	秋本
6	慢性期にある小児と家族への看護 成人への移行期にある健康障害をもつ小児と家族への看護	慢性期にある小児と家族の理解 慢性疾患がある小児と家族への具体的な看護 成人への移行期にある健康障害をもつ小児と家族の理解（講義）	下野
7	検査や処置を受ける小児と家族への看護	小児への説明と同意 小児の安全・安楽の援助 小児の力を引き出す援助 検査や処置を受ける小児と家族への具体的な看護	下野

		看護過程演習についてのオリエンテーション (講義)	
8	痛みのある小児と家族への看護 活動制限が必要な小児と家族への看護	小児の痛みの受け止め方と表現方法 痛みのある小児と家族への具体的な看護 活動制限が必要な小児と家族の理解 活動制限や隔離の目的・方法 活動制限が必要な小児と家族への具体的な看護 (講義)	下野
9	手術を受ける小児と家族への看護	手術を受ける小児と家族の理解 術前術後看護 外科疾患があり手術を受ける小児と家族への具体的な看護 (講義)	下野
10	外来における小児と家族への看護	小児外来を受診する小児と家族の理解 予防接種を受ける小児と家族への具体的な看護 急変 (かぜ症候群) に伴い外来受診した小児と家族への具体的な看護 外来通院が必要な小児と家族への具体的な看護 (講義)	遠藤
11	在宅における小児と家族への看護	小児在宅医療の理解 家庭で療養している慢性疾患のある小児と家族への具体的な看護 医療的ケアが必要な小児と家族への具体的な看護 (講義)	下野
12	終末期にある小児と家族への看護 特別な状況にある (災害、被虐待) 小児と家族への看護	終末期にある小児の家族の理解 染色体異常があり終末期にある小児の家族への看護 災害を受けた小児の心と身体への影響 災害時の小児と家族への看護 虐待の定義 虐待が小児に与える影響 被虐待時および家族への看護 (講義)	下野

13	模擬事例の看護過程の検討	ゴードンの機能的健康パターンを基盤とした小児の主なアセスメント視点を教授した後、看護過程に基づき、小児によく生じる疾患の病態生理、小児と家族の特徴、および状況に基づいた必要な看護ケアを小グループで討議する。(講義・演習・GW)	下野 秋本 遠藤
14	模擬事例の看護過程の発表	各グループが模擬事例に対する看護過程をプレゼンテーションし、それを基にディスカッションする。(演習・GW)	下野 秋本 遠藤
15	模擬事例の看護過程の解説とまとめ	提出された看護過程演習課題について解説し、それを基に各自看護過程を修正する。 (演習)	下野 秋本 遠藤

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

定期試験 80%、看護過程演習課題レポートの内容 20%

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・希望者に対して、試験のフィードバックを行う。希望者は、試験日以降 2 週間以内に、事前にアポイントをとったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。
- ・看護過程演習課題レポートに関しては、最終回授業時に解説を行う。また、レポートはコメントを付して返却を行う。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
  - 33 巻 小児看護学 ① 小児の発達と看護
  - 34 巻 小児看護学 ② 小児看護技術
  - 35 巻 小児看護学 ③ 小児の疾患と看護

## ■ 参考書・参考資料等

- ・小林京子、高橋孝雄編集 (2022) 『新体系看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論/小児保健』メヂカルフレンド社
- ・小林京子、高橋孝雄編集 (2022) 『新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護』メヂカルフレンド社

その他は講義中に提示する。

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業 1 コマにつき、事前・事後学修それぞれ 90 分程度（計 180 分程度）必要とする。
- ・事前学習として、指定された範囲の教科書を通読すること。
- ・事後学習として、授業時配布資料と教科書を読み、内容が理解できているかどうかを確認し、ノートを作成すること。
- ・看護過程演習課題に関しては、授業時に課題内容等を記した演習ノートを配布し、それを基に説明するため、授業時の指示に従って課題に取り組むこと。

## ■ 担当教員からのメッセージ

身体面、社会面、精神面、発達段階等を総合的に捉え、その子どもと家族が何を求めているのかを的確に判断し、看護を展開していくために、真摯に考えていきましょう。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

科目全体に関することは科目責任者、各講義に関することは講義担当教員にお問い合わせください。研究室を訪ねる際は事前にメールでご連絡ください。

下野：研究室 17、shimono★iwate-uhms.ac.jp、月曜日 13時半～17時

秋本：研究室 20、akimoto★iwate-uhms.ac.jp、水曜日 13時半～17時

遠藤：研究室 25、aendo★iwate-uhms.ac.jp、月曜日 13時半～17時

(※メールの際は★を@にしてください)

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の实務経験

看護師

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

## ■ 実務経験を活かした教育内容

病院での看護師経験をいかし、小児看護学に関する専門的で実践的な講義・演習を行っています。